

【三大学病院合同】放射線科 IVR 専門修練プログラム

【熊本大学の特徴】

1. 連携プログラム内での熊本大学としての特徴

熊本大学では充実した最新設備及び世界有数の豊富な症例数によってトップレベルの IVR の研修が可能である。IVR は、血管系と非血管系の大きく 2 つに大別されるが、熊本大学ではいずれの領域でも幅広く研修可能である。血管系 IVR には、腫瘍や出血、動脈瘤に対する塞栓術、悪性腫瘍に対する抗癌剤動注治療、大動脈ステント留置術(EVAR)、血管狭窄病変の金属ステント留置術、血栓性血管閉塞の血栓溶解剤療法、血管内異物除去などが研修可能であり、非血管系 IVR には、悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法、各種病変に対する経皮的生検、膿瘍に対する経皮的ドレナージ、椎体形成術などが含まれる。また、大学病院研修に加えて、IVR 専門医が在籍する IVR 専門医修練施設である熊本赤十字病院、済生会熊本病院などをローテートすることにより、救急疾患から最先端医療についてまで直接指導を受けることが可能である。

症例数

当院の 2010 年度の診療実績は血管系 IVR : 700 例と非血管系 IVR : 600 例である。症例や手技も多岐にわたっている。

研修スケジュール

ほぼ毎日 IVR の手技を行う。またカンファレンスで、症例検討を行う。

研修の 1 例

曜日	午前	午後
月	外来 肝細胞癌に対する TACE 肝細胞癌に対する TACE	肺癌に対する RFA 肺癌の CT 下生検 肺癌術前マーキング
火	回診・カンファレンス 肝細胞癌術前血管造影 肝細胞癌に対する TACE	椎体形成術 肺癌の CT 下生検 肺癌術前マーキング
水	外来 肝細胞癌に対するリザーバー留置 胃静脈瘤に対する BRTO	肝細胞癌に対する RFA 肺癌術前マーキング 腎周囲膿瘍ドレナージ
木	副腎静脈サンプリング 肝細胞癌に対する TACE 肝細胞癌術前血管造影	ASO に対する血管形成 肝細胞癌術前血管造影 肝細胞癌術前血管造影
金	肝細胞癌に対する TACE 肝細胞癌術前血管造影 腹部大動脈瘤に対する EVAR	肺癌の CT 下生検 肝細胞癌の CT 下生検 脾動脈瘤に対するコイル塞栓術

時間外で出血に対する緊急動脈塞栓等

設備

血管撮影室は4部屋。血管撮影したままCTができるIVR-CTシステムが2台、回転血管撮影Rotational Angiographyのできる機械が3台。脳血管IVR専用装置が1台、心臓カテーテル用血管造影装置が1台である。この中で、回転血管撮影Rotational Angiographyのできる機械が3台。

IVR-CTシステムは肝臓癌など腫瘍に対する動注化学療法で治療の最適化に必須、また、CT下のRFAや生検にも不可欠である。回転血管撮影装置は、動脈瘤や四肢動脈などの血管病変の三次元立体構造の精密な把握に欠かせない。

2. 実施責任者

山下康行（科 長）

3. 指導責任者

池田 理（熊本大学）

4. 関連施設、学会認定状況

熊本大学（IVR 専門医修練施設）

熊本赤十字病院（IVR 専門医修練施設）

済生会熊本病院（IVR 専門医修練施設）

5. その他

放射線診断認定、専門医およびIVR 専門医資格を取得する。

6. 連絡先

熊本大学医局長 重松良典 shigemachy@aol.com